

市民の願いに応えくらしを支える予算を 新年度予算編成について一般質問

12月定例市議会的一般質問で大東議員は、新年度予算編成について、国民健康保険について、学童保育所について、地域医療についての4点について市長の考えなどを質しました。

新年度予算の重点施策について市長は、「市の重点施策として『心豊かな暮らしを実感できるまちづくり』、『地域のポテンシャルを活かした活力あるまちづくり』、『誰もが知恵を出し合い地域を大切にするまちづくり』の3項目を柱として、市民との連携・協働のもと、創造性豊かな明るく元気なまちづくりに取り組みたい」と答えました。

具体的にどのような事業を行うのかという質問に市長は、「地域創造枠を設け、新しい取り組みをすすめたい。変わりつつあるという状況をつくり出したい」と答えました。

農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現で地域の活性化につなげるからこそ必要 地域農業と農家を守ることを求める意見書を提出へ

12月定例市議会に利根沼田農業協同組合（代表理事組合長 小林一太）から提出された「JAグループの自己改革の実現に向けた請願」が採択され、請願に基づく「農協改革に関する意見書」も採択され、内閣総理大臣、農林水産大臣などに宛て意見書が提出されました。

意見書では、農協改革の検討に当たっては、農業生産・地域社会の現場の実態を踏まえることを求めるなど、安倍内閣がすすめている農協改革に様々な要望がされています。

旧沼田貯蓄銀行の移築工事がはじまりました

3月末に完成予定 費用は約1億3千6百万円

上之町の生方記念文庫の隣に、材木町にあった旧沼田貯蓄銀行の復元建築工事がはじまりました。

旧沼田貯蓄銀行は、明治の末期に建てられたと考えられており、明治・大正期の擬洋風建造物で、利根・沼田の金融史を物語る建物として県の重要文化財に指定されています。

完成後の利活用については、展示施設としても活用されることなどが検討されています。



年金積立金の運用は加入者の利益を守り安全に運用を リスクの高い株式運用の中止を求める意見書を提出

12月定例市議会では、安倍内閣がすすめる年金積立金の株式運用の中止を求める意見書を内閣総理大臣などに宛て提出しました。

意見書では、年金積立金の運用について、加入者の利益を守るため、安全で堅実な運用を求め、リスクの高い株式等の運用をおこなわないことを求めています。

2015年1月11日

NO. 424

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel 23-1519 部内資料



信頼は憎悪に変わり、日本人がテロの対象にされると警告しています。安倍首相の念頭の会見には、こうしたNGOの警告が耳にはいいっていい様子はなく、「海外で戦争する国づくり」を絶対許してはなりません。

こんには。安倍首相は、戦後70年に当たる今年最初の記者会見で、集団的自衛権行使容認を柱とする「閣議決定」に基づき安全保障法制の整備を表明し、「日本は積極的平和主義の旗の下、世界の平和と安定のためいっそう貢献しなければならない」と語り、海外での自衛隊による武器使用や他国軍隊への支援活動の大幅拡大を打ち出しました。「積極的平和主義」に基づく「国際貢献」とは、「海外で戦争する国」づくりにほかならず、憲法9条に基づく戦後日本の国のあり方を根底から覆そうとするものです。世界の紛争地などで献身的に人道支援に取り組んでいる多くのNGOは、自衛隊が武器を使用すれば戦闘の一方の当事者になりNGOを危険にさらし、世界が日本に寄せてきた

こんには 大東のぶゆき です

続ぶらい散歩 めまた道 利根地区あれこれ 特別編その十五

利根軌道跡

江戸から明治の時代になっても、渋川から沼田までの間は、綾戸溪谷や急勾配の地形のため交通の難所として前橋から北に向かう商人や旅人などを悩ませてきました。

交通の不便さを解消するため渋川～屋形原間で、明治44年（1911）利根軌道が開通し、その年の7月には沼田～屋形原間も開通し、渋川～沼田が鉄道で結ばれました。

開通当時は鉄道といっても今のような電車ではなく、馬が車両を引く「馬車鉄道」で、遅れることもしばしばあったようですが、渋川～沼田を1時間半で結びました。

「馬車鉄道」も大正7年（1918）1月21日から電車で変わりましたが、「其処に異様な乗り物が動いてきた」と若

山牧水がみなかみ紀行で書いたように奇妙な電車だったようです。

奇妙な電車が走った利根軌道の線路跡は今でも、戸鹿野町に見ることができます。

